

# 消 防 団



## 消防団のあゆみ

明治32年3月、公設消防組としての体裁を整え、明治43年1月「豊橋公設消防組」として発足以来、久しきに亘り6組70部、人員3,500人を擁していました。その後幾度か改変が行われ、昭和14年1月警防団令の交付に伴い「豊橋警防団」と改称され、昭和23年3月5日、5消防団23分団、団員1,680人に縮小、次いで消防組織法の一部を改正する法律の施行とともに昭和24年7月1日市条例により「豊橋市消防団」5消防団31分団、団員980人に改組しました。

昭和30年には、町村合併により12消防団49分団、団員1,950人、昭和31年4月1日、12消防団50分団、団員1,950人となり、連合会組織をもって運営の一元化を図りました。

昭和39年10月に設置された豊橋市消防団組織改善協議会の意見に基づき、昭和40年4月には12消防団50分団、団員1,500人に、昭和41年4月には1団8方面隊56分団、団員1,300人の少数精鋭に組織を改善しました。

昭和52年4月1日、市勢の進展に伴って編成された新校区に1分団を新設、つづいて昭和53・54年4月1日、各1分団を新設して1団8方面隊59分団、団員1,300人となりました。

昭和54年4月、市の人口が30万人を越えたことに伴い、諸環境に適応した防災体制確立を図るため同年4月に設置された豊橋市消防団等組織改善協議会の意見に基づく、1校区1分団の原則をふまえ、昭和55年4月1日には、1団8方面隊45分団、団員1,247人に改組し、その後昭和57・59・60・61・63年、平成3年4月1日各1分団を新設、51分団、団員1,325人となりました。

平成4年5月に設置された豊橋市消防団等組織改善協議会の意見に基づき、分団内での警防要員及び交通整理員等の活動体制の改正並びに分団相互の団員数不均衡を是正するための基準（各分団17名、1部増すごとに10名増員）を作り、平成6年度から平成8年度の3年間で団員数を1,269名に改め、平成8年4月1日、1分団を新設、52分団、団員1,286名となりました。平成18・19年度には部の統廃合を図り、団員数を1,261名に改めました。

平成19年度、豊橋市消防団組織等改善協議会を設置し、消防団組織の整備、活動環境の整備、消防団員の確保等検討を重ね、意見書が提出されました。

この意見書に基づき、平成21年度新たに女性分団の創設、機能別団員の導入を図る一方、部の統廃合を行い、平成21年度から令和4年度までに9部の統廃合を行い、53分団77部1,230名となりました。また、消防団員の70%以上が被雇用者であり、消防団活動を行うためには事業所の理解と協力が必要であることから、平成22年度4月から消防団協力事業所表示制度を開始しました。

さらに、平成24年度6月から、福利厚生事業の充実のため地域全体で消防団を支えるという新しい取り組みである「ええじゃないか消防団・消防団応援事業」を開始、平成27年度4月1日より、消防団員のさらなる福利厚生の充実を図るため東三河8市町村と連携し東三河地域全体で「ほの国消防団・消防団応援事業」を開始しました。

平成25年12月には「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が公布・施行されたことを受け、消防団の装備の基準が改正されました。本市においても、警備靴やライフジャケット等の安全装備品、エンジンカッターや油圧ジャッキ等の救助資機材、双方向送受信可能な情報伝達機器としてデジタル簡易無線を配備しました。

さらに、消防団の充実強化に向けた重点取組事項である学生に対する入団を促進するため、平成28年4月1日より、消防団員の任命要件を2歳引き下げ18歳以上とし、消防団活動が就職活動時に積極的に評価されるよう消防団活動認証制度を導入しました。

令和4年度に第5回目となる豊橋市消防団組織等改善協議会を設置し、消防団員の組織編成や消防団活動の在り方などについて協議・検討を重ね、意見書が提出されました。

# 組 織 ・ 人 員

令和5. 4. 1

1団 8方面隊  
53分団 77部  
定数、団員1,230人  
実数、団員1,120人

本団名 団長及び女性分団  
分団数 1分団  
団員数 1+13 14人

方面隊名 第一方面隊  
分団数 5分団13部  
団員数 152人  
機能別団員数 8人  
合 計 160人

方面隊名 第三方面隊  
分団数 5分団6部  
団員数 104人  
機能別団員数 0人  
合 計 104人

方面隊名 第八方面隊  
分団数 4分団5部  
団員数 74人  
機能別団員数 5人  
合 計 79人

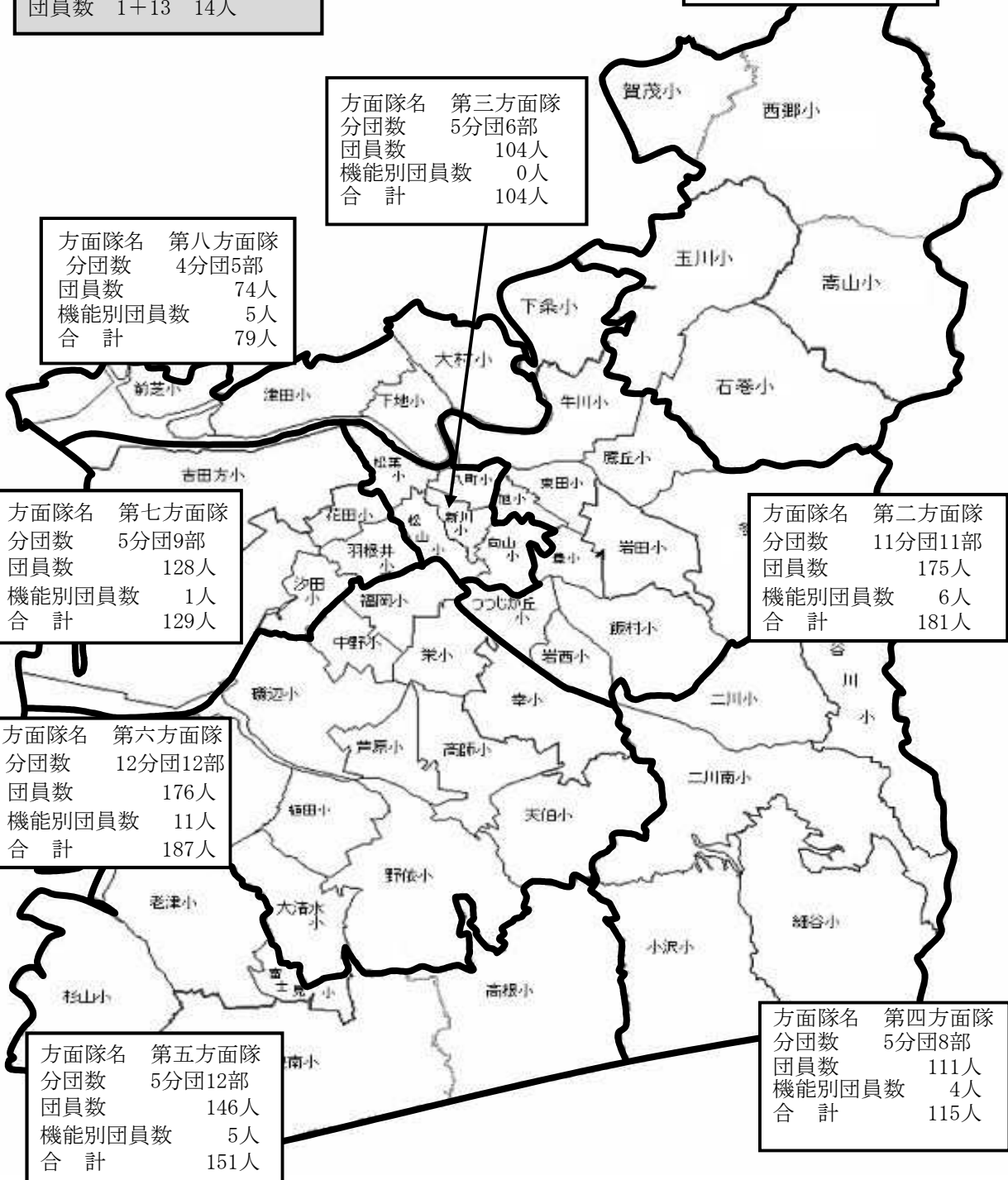
方面隊名 第七方面隊  
分団数 5分団9部  
団員数 128人  
機能別団員数 1人  
合 計 129人

方面隊名 第二方面隊  
分団数 11分団11部  
団員数 175人  
機能別団員数 6人  
合 計 181人

方面隊名 第六方面隊  
分団数 12分団12部  
団員数 176人  
機能別団員数 11人  
合 計 187人

方面隊名 第五方面隊  
分団数 5分団12部  
団員数 146人  
機能別団員数 5人  
合 計 151人

方面隊名 第四方面隊  
分団数 5分団8部  
団員数 111人  
機能別団員数 4人  
合 計 115人



# 消防団人員

(令和5. 4. 1)

方面隊	分 団	人 員									
		計	団 長	副団長 (方面 隊長)	分 団 長		副分団長	部 長	班 長	団 員	機能別 団 員
					方面隊 副隊長	分団長					
	合 計	1,120	1	8	16	53	53	77	129	743	40
	団 長	1	1								
	女 性 分 団	13				1	1	1	1	9	
第一方面隊	小 計	160		1	2	5	5	13	18	108	8
	本 隊	3		1	2						
	賀 茂 分 団	28				1	1	2	3	19	2
	西 郷 分 団	46				1	1	4	5	32	3
	玉 川 分 団	39				1	1	4	5	26	2
	石 巻 分 団	27				1	1	2	3	19	1
	嵩 山 分 団	17				1	1	1	2	12	
第二方面隊	小 計	181		1	2	11	11	11	22	117	6
	本 隊	3		1	2						
	下 条 分 団	21				1	1	1	2	12	4
	牛 川 分 団	16				1	1	1	2	11	
	東 田 分 団	17				1	1	1	2	12	
	旭 分 団	17				1	1	1	2	12	
	多 米 分 団	15				1	1	1	2	10	
	岩 田 分 団	17				1	1	1	2	12	
	岩 西 分 団	17				1	1	1	2	12	
	つつじが丘分団	12				1	1	1	2	5	2
	鷹 丘 分 団	12				1	1	1	2	7	
	豊 分 団	17				1	1	1	2	12	
飯 村 分 団	17				1	1	1	2	12		
第三方面隊	小 計	104		1	2	5	5	6	11	74	
	本 隊	3		1	2						
	向 山 分 団	17				1	1	1	2	12	
	新 川 分 団	17				1	1	1	2	12	
	八 町 分 団	17				1	1	1	2	12	
	松 山 分 団	27				1	1	2	3	20	
松 葉 分 団	23				1	1	1	2	18		
第四方面隊	小 計	115		1	2	5	5	8	13	77	4
	本 隊	3		1	2						
	二 川 分 団	22				1	1	2	3	15	
	二 川 南 分 団	29				1	1	2	3	20	2
	小 沢 分 団	19				1	1	1	2	12	2
	谷 川 分 団	20				1	1	1	2	15	
細 谷 分 団	22				1	1	2	3	15		

# 消防団人員

(令和5. 4. 1)

方面隊	分 団	人 員									
		計	団 長	副団長 (方面 隊長)	分 団 長		副分団長	部 長	班 長	団 員	機能別 団 員
					方面隊 副隊長	分団長					
第五方面隊	小 計	151		1	2	5	5	12	17	104	5
	本 隊	3		1	2						
	豊南分団	45				1	1	4	5	34	
	高根分団	33				1	1	3	4	24	
	老津分団	27				1	1	2	3	20	
	杉山分団	25				1	1	2	3	14	4
富士見分団	18					1	1	2	12	1	
第六方面隊	小 計	187		1	2	12	12	12	24	113	11
	本 隊	3		1	2						
	福岡分団	17				1	1	1	2	10	2
	栄分団	8				1	1	1	2	2	1
	磯辺分団	16				1	1	1	2	9	2
	大崎分団	18				1	1	1	2	12	1
	高師分団	18				1	1	1	2	12	1
	植田分団	16				1	1	1	2	11	
	大清水分団	16				1	1	1	2	9	2
	野依分団	17				1	1	1	2	12	
	天伯分団	18				1	1	1	2	12	1
幸分団	12				1	1	1	2	6	1	
芦原分団	17				1	1	1	2	12		
中野分団	11				1	1	1	2	6		
第七方面隊	小 計	129		1	2	5	5	9	14	92	1
	本 隊	3		1	2						
	羽根井分団	27				1	1	2	3	20	
	花田分団	27				1	1	2	3	20	
	牟呂分団	27				1	1	2	3	20	
	汐田分団	17				1	1	1	2	12	
吉田分団	28				1	1	2	3	20	1	
第八方面隊	小 計	79		1	2	4	4	5	9	49	5
	本 隊	3		1	2						
	下地分団	17				1	1	1	2	12	
	大村分団	19				1	1	1	2	12	2
	津田分団	10				1	1	1	2	5	0
前芝分団	30				1	1	2	3	20	3	

## 入退団状況

退団状況について（期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日）

退団者数	退団理由別退団者数				
	自己都合	定年・任期満了	死亡（公務）	死亡（その他）	その他
208人	198人	9人	0人	1人	0人

入団状況について（期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日）

入団者数	年齢別入団者数				
	21歳未満	21歳以上 31歳未満	31歳以上 41歳未満	41歳以上 51歳未満	51歳以上
160人	8人	54人	62人	36人	0人

## 階級別人員構成、平均年齢及び勤続年数

（令和5.4.1）

階級	人員	平均年齢	構成比率	平均勤続年数
団長	1人	45.0歳	0.09%	14.0年
方面隊長（副分団長）	8人	42.6歳	0.71%	13.8年
方面隊副隊長（分団長）	16人	42.3歳	1.43%	10.0年
分団長	53人	35.3歳	4.73%	7.3年
副分団長	53人	36.5歳	4.73%	6.5年
部長	77人	34.3歳	6.88%	6.2年
班長	129人	34.0歳	11.52%	5.3年
団員	743人	34.5歳	66.34%	5.6年
機能別団員	40人	41.6歳	3.57%	9.5年
合計	1,120人	35.0歳	100.00%	6.0年

消防団の施設・機械・装備 配置状況

(令和5. 4. 1)

方面隊	分 団	器 具 庫	ホ ー ス 乾 燥 施 設	積 載 車		小 型 動 力 ポ ン プ
				普 通	軽 四	
	合 計	76	74	63	13	76
第一方面隊	小 計	13	13	8	5	13
	賀茂分団	2	2	1	1	2
	西郷分団	4	4	3	1	4
	玉川分団	4	4	2	2	4
	石巻分団	2	2	1	1	2
	小 計	1	1	1		1
第二方面隊	小 計	11	11	11	0	11
	下条分団	1	1	1		1
	牛川分団	1	1	1		1
	東田分団	1	1	1		1
	旭分団	1	1	1		1
	多米分団	1	1	1		1
	岩田分団	1	1	1		1
	岩西分団	1	1	1		1
	つじが丘分団	1	1	1		1
	鷹分団	1	1	1		1
	豊飯村分団	1	1	1		1
第三方面隊	小 計	6	4	6	0	6
	向山分団	1	1	1		1
	新川分団	1		1		1
	八町分団	1	1	1		1
	松山分団	2	1	2		2
	松葉分団	1	1	1		1
第四方面隊	小 計	8	8	7	1	8
	二川分団	2	2	2		2
	二川南分団	2	2	1	1	2
	小沢分団	1	1	1		1
	小谷分団	1	1	1		1
	細谷分団	2	2	2		2
第五方面隊	小 計	12	12	7	5	12
	豊南分団	4	4	2	2	4
	高根分団	3	3	2	1	3
	老津分団	2	2	1	1	2
	杉山分団	2	2	1	1	2
	富士見分団	1	1	1		1
第六方面隊	小 計	12	12	12	0	12
	福岡分団	1	1	1		1
	栄分団	1	1	1		1
	磯辺分団	1	1	1		1
	大崎分団	1	1	1		1
	高師分団	1	1	1		1
	植田分団	1	1	1		1
	清水分団	1	1	1		1
	大野分団	1	1	1		1
	天依分団	1	1	1		1
	幸伯分団	1	1	1		1
	原分団	1	1	1		1
	中野分団	1	1	1		1
第七方面隊	小 計	9	9	8	1	9
	羽根井分団	2	2	2		2
	花田分団	2	2	2		2
	牟呂分団	2	2	2		2
	汐田分団	1	1	1		1
	吉方分団	2	2	1	1	2
第八方面隊	小 計	5	5	4	1	5
	下地分団	1	1	1		1
	大村分団	1	1	1		1
	津田分団	1	1	1		1
	前芝分団	2	2	1	1	2

## 就業形態等の推移

### 全国の消防団員の被雇用者化の推移と豊橋市の状況

社会経済の進展により産業構造や就業構造は大きく変化し、日本の就業者の全体に占めるサラリーマンなど（以下「被雇用者」という。）の割合は、大幅に増加している。

全国の消防団員の被雇用者化の推移については、平成22年に70%を超えて以降、70%以上の割合であり、令和4年4月1日現在は73.7%（前年比-0.4%）となっている。（図1 全国の消防団員の被雇用者化の推移参照）

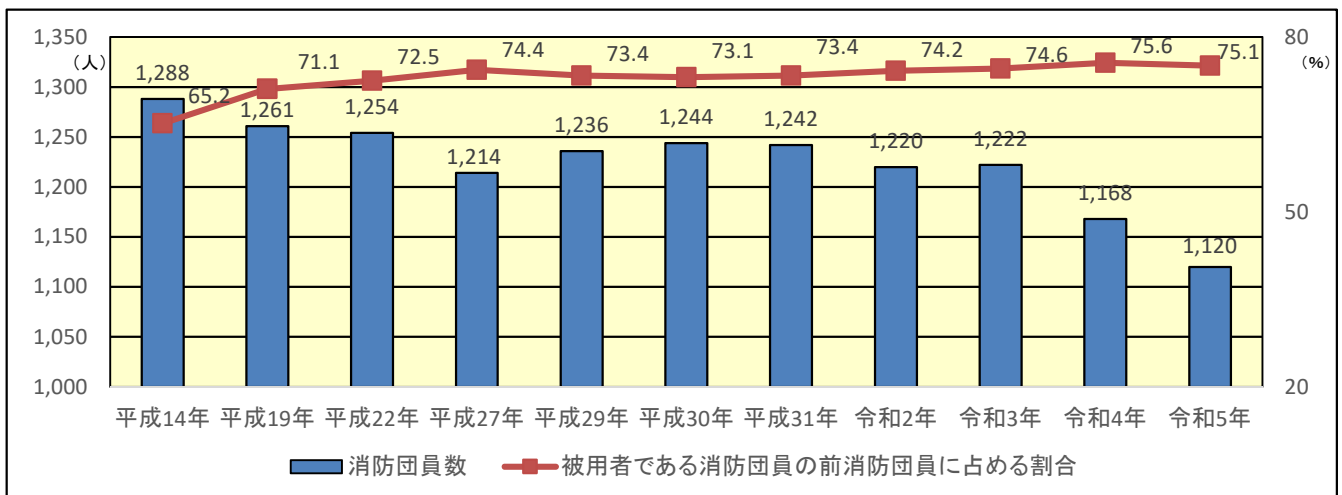
豊橋市の消防団についても消防団員全体に占める被雇用者の割合が平成19年度から70%を超えている状態が続き、全国的に課題とされている状況とほぼ同様である。被雇用者の割合は令和4年度の全国の被雇用者の割合に比べ約1.9ポイント高くなっている。（図2 豊橋市消防団員の被雇用者化の推移参照）

図1 全国の消防団員の被雇用者化の推移

令和4年版 消防白書より



図2 豊橋市消防団員の被雇用者化の推移





## 就業形態別団員数及び構成比率

(各年度4月1日現在)

年度	被用者	被用者の ある自営	被用者の ない自営	家族従業者	学生	その他	計
令和5年度	841人	27人	48人	176人	11人	17人	1,120人
	75.09%	2.41%	4.29%	15.71%	0.98%	1.52%	100.00%
令和4年度	75.60%	2.57%	4.11%	16.47%	1.54%	1.54%	100.00%
令和3年度	74.55%	3.03%	4.66%	16.47%	1.23%	1.23%	100.00%
令和2年度	74.18%	3.61%	4.43%	16.47%	1.31%	1.31%	100.00%
令和元年度	73.35%	4.51%	4.27%	16.67%	1.21%	1.21%	100.00%
平成30年度	73.05%	4.91%	4.10%	16.73%	1.21%	1.21%	100.00%

## 消防団員数等の推移

(各年度4月1日現在)

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
団員数定員(人)	1,247	1,257	1,259	1,248	1,248	1,248	1,230
団員数実員(人)	1,236	1,244	1,242	1,220	1,222	1,168	1,120
女性団員数(人)	14	17	17	13	16	12	13
機能別団員(人)	38	45	47	51	51	51	40
平均年齢(歳)	33.4	33.7	33.9	34.1	34.4	34.6	35.0

## 消防団員の報酬

(令和5.4.1)

区 分	団 長	副団長 (方面隊長)	分 団 長		副分団長	部 長	班 長	団 員
			方面隊 副隊長	分団長				
報酬年額	82,500	69,000	54,500	50,500	45,500	39,000	37,000	36,500